



NISSAY
ASSET MANAGEMENT

グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)

追加型投信／内外／株式

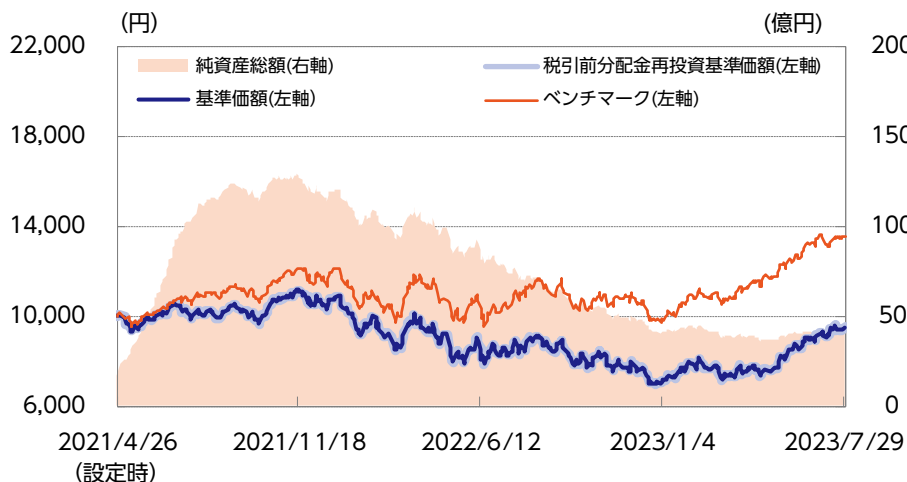


マンスリーレポート
2023年7月末現在



運用実績

基準価額・純資産の推移



基準価額および純資産総額

基準価額	9,492円
前月末比	377円
純資産総額	43億円

分配の推移 (1万口当り、税引前)

第1期	2022年04月	0円
第2期	2023年04月	0円
第3期	2024年04月	—
第4期	2025年04月	—
第5期	2026年04月	—
第6期	2027年04月	—
第7期	2028年04月	—
直近1年間累計		0円
設定来累計額		0円

基準価額の騰落率 (税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.1%	26.3%	25.6%	10.9%	—	−5.1%
ベンチマーク	1.0%	17.6%	29.4%	23.6%	—	35.4%

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※基準価額は実質的な信託報酬控除後のものです。税引前分配金再投資基準価額は分配金 (税引前) を再投資したものと計算しております。なお、信託報酬率は「手続・手数料等」の「ファンドの費用」をご覧ください。

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります (個人受益者の場合)。

※ファンド騰落率は分配金 (税引前) を再投資したものと計算しており、実際の投資家利回りとは異なります。

※基準価額の前月末比は、決算日到来月に分配金支払実績がある場合、分配金込みで算出しています。

※ベンチマークはMSCIワールド・グロース・インデックス (配当込み、円ベース) としています。MSCIワールド・グロース・インデックス (配当込み、円ベース) は設定日前営業日の終値を起点として指数化しています。

※MSCIワールド・グロース・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

組入比率

GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド	98.6%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0%
短期金融資産等	1.4%

※対純資産総額比

グローバル・ディスラプター成長株ファンド（資産成長型）

マンスリーレポート
2023年7月末現在

投資対象ファンドの状況

※投資対象ファンドの状況は、当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の状況を表示しており、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの資料（現地月末営業日基準）に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

ポートフォリオ情報

		ファンド
予想株価収益率（P E R）	※1	26.1倍
株価純資産倍率（P B R）	※2	4.6倍
予想1株利益成長率	※3	22.6%
配当利回り	※4	1.3%
銘柄数		41

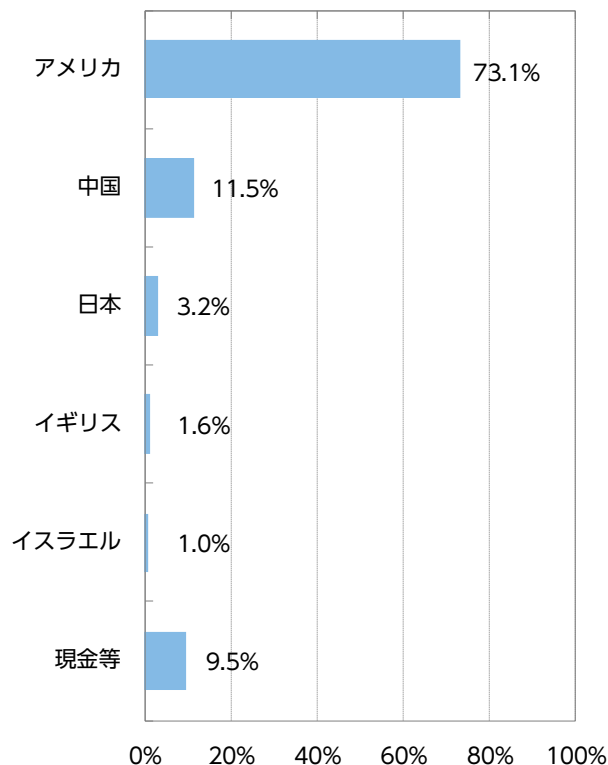
※1 各組入銘柄の予想株価収益率を加重平均して算出したものです。

※2 各組入銘柄の株価純資産倍率を加重平均して算出したものです。

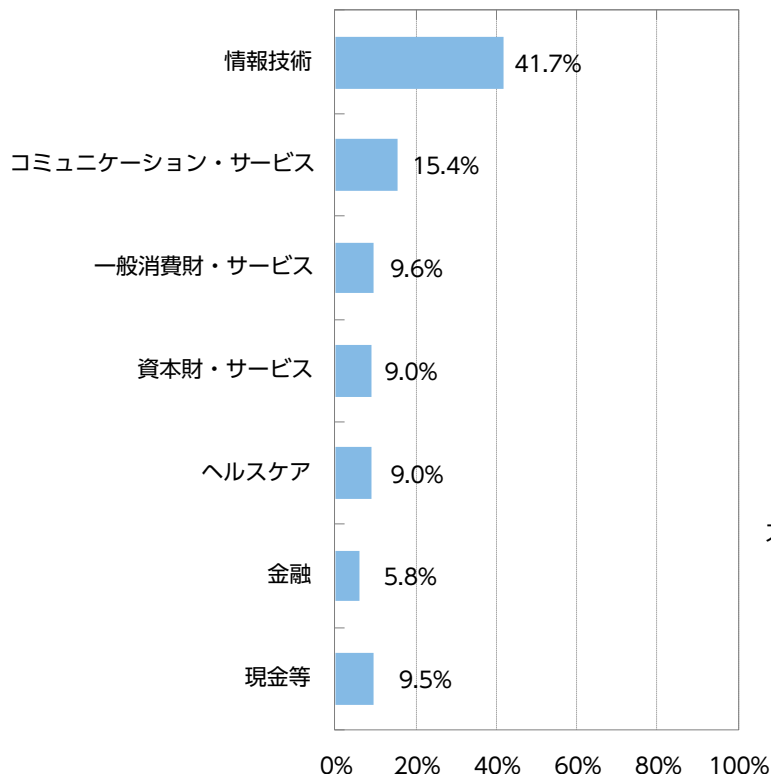
※3 各組入銘柄の予想1株利益成長率を加重平均して算出したものです。

※4 各組入銘柄の配当利回りを加重平均して算出したものであり、ファンドの利回りを表すものではありません。

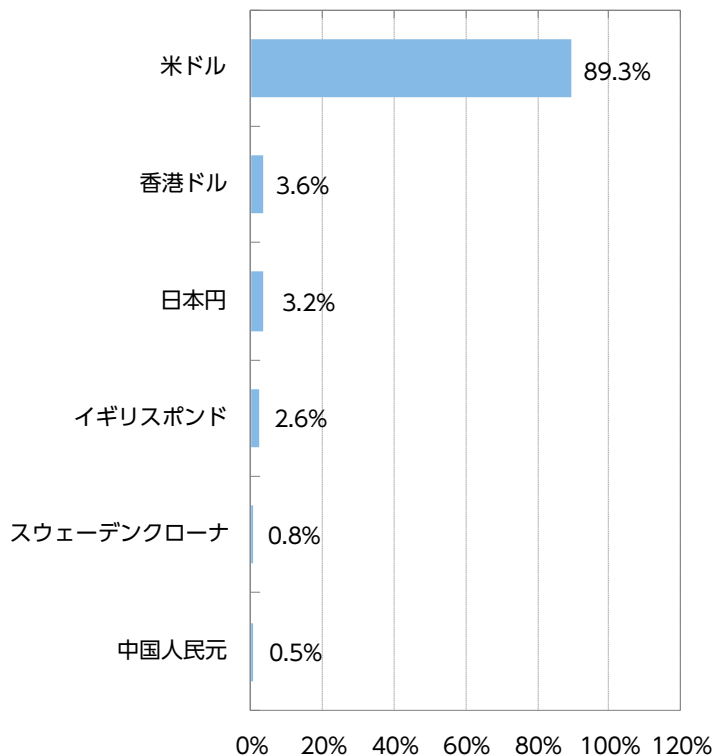
国・地域別組入比率



業種別組入比率



通貨別組入比率



※国・地域は、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの分類によるものです。以下同じです。

※業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

※比率はすべて対純資産総額比です。

本資料に記載されている投資リスク、ファンドの費用等を必ずご覧ください。

ニッセイアセットマネジメント株式会社 2 / 11

組入上位10銘柄

(銘柄数：41)

	銘柄	比率	投資テーマ	国・地域	業種
			銘柄解説		
1	マイクロソフト	7.5%	クラウド/ソフトウェア・アズ・ア・サービス	アメリカ	情報技術
			ソフトウェアおよびクラウドサービスの世界的なプロバイダー。今後数年間の成長の原動力となるクラウドサービスと、Office製品やクラウド型のグループウェアをまとめて利用できるサブスクリプション（継続課金）サービスのOffice365を中心とした事業の再構築が行われてきており、クラウド関連の事業のさらなる成長拡大が期待される。		
2	アルファベット (A)	7.4%	デジタル広告/クラウド	アメリカ	コミュニケーション・サービス
			世界最大の検索エンジンGoogleを傘下に持つ、デジタル広告業界の最大手。巨大なユーザー層を持つ複数の事業で検索広告は今後も成長が見込まれる。YouTube事業の収益拡大、大きな成長分野のクラウドコンピューティング事業の成長、更には自動運転車両事業のWaymoやヘルスケア事業のVerily等の新たな成長機会も期待される。		
3	コインベース・グローバル	4.8%	DeFi(分散型金融)/ブロックチェーン	アメリカ	金融
			暗号資産取引所の運営会社。高い流動性と強いネットワーク効果、規制順守を重視する姿勢による顧客からの高い信頼、安全性の高いプラットフォームとしての強力なブランド力、収益化の好循環を生み出すイノベーションを可能にするプラットフォームの提供等を強みに、業界のリーダーとして、今後予想されるデジタル資産市場活性化の恩恵を受けると期待される。		
4	エヌビディアコーポレーション	4.0%	AI	アメリカ	情報技術
			高度なコンピューティング技術と人工知能（AI）技術を統合して、新しい市場を開拓し続けている。データセンターからゲームまで幅広い市場に技術を提供し、350万人以上の開発者が彼らのプラットフォームを利用してアプリケーションを構築している。同社のGPU（画像処理半導体）はAI処理向け機能で強力なパフォーマンスを発揮し、市場をリードしている。		
5	マイクロストラテジー	3.5%	DeFi(分散型金融)/ブロックチェーン	アメリカ	情報技術
			データ分析、レポート、ビジュアライゼーション（可視化）のためのツールを提供するビジネスインテリジェンス（BI）ソフトウェア企業。同社が最近発表したアナリティクス・プラットフォーム「MicroStrategy ONE」は、組織がBIと人工知能（AI）を活用する方法を根本的に転換し、あらゆるアナリティクスのユースケースを1つのプラットフォームで実現する。		

※比率は対純資産総額比です。※投資テーマはGAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの分類によるものです。以下同じです。

	銘柄	比率	投資テーマ	国・地域	業種
			銘柄解説		
6	Netflix	3.4%	インターネットによるコンテンツ配信	アメリカ	コミュニケーション・サービス
			動画配信サービスのグローバル企業。独占配信やオリジナル作品の製作などを強みに世界的な優位性を確立し、強力な価格決定力を持つ。コンテンツの幅広さと充実度による長期的な成長が予想される。オリジナル作品を中心に利益率の拡大と安定したフリーキャッシュフローの創出が見込まれ、米国市場の成熟化に伴い、海外市場の成長に注力している。		
7	ベйкаレント・コンサルティング	3.2%	デジタル 4.0	日本	資本財・サービス
			日本企業のデジタル変革戦略の策定と実行を支援するコンサルタント会社。ローカルなカルチャーに寄り添うアプローチが特徴で、全てのコンサルタントが同じ部門に所属する「ワンプール」制を採用しており、どのコンサルタントもさまざまな業界やクライアントに対応できる。顧客やプロジェクトごとに最適なシステムを選択することで、より良い結果と顧客満足度につなげる。		
8	マーベル・テクノロジー	3.0%	5G	アメリカ	情報技術
			データインフラ向け半導体チップの開発設計会社。5 G（第 5 世代移動通信システム）対応基地局向けのチップやモジュール製品の提供など 5 G インフラ向けの事業に加え、データセンター用のストレージやネットワーク向けの事業も拡大している。同業のインファイ社の買収により、クラウドサービス/データセンターや 5 G インフラ向け事業が一層強化されている。		
9	PTC	3.0%	ソフトウェア・アズ・ア・サービス	アメリカ	情報技術
			コンピューター利用設計システム（C A D）および製品ライフサイクル管理（PLM）関連を主力とするグローバルなソフトウェア会社。製造業におけるあらゆるものがネットにつながる「I o T」と拡張現実（A R）の分野のリーダー的存在であり、製造業の工場の自動化、生産拠点の自国内への回帰などの動きから持続的な恩恵が期待され、業績面で大きな成長が見込まれる。		
10	セールスフォース	2.9%	ソフトウェア・アズ・ア・サービス	アメリカ	情報技術
			顧客情報管理（C R M）ソフトウェア業界のリーダー。強力な製品、企業文化、先見性のある最高経営責任者（C E O）により市場シェアを獲得。クラウド経由でソフトを提供する S a S やデータ分析技術の採用拡大から、健全な成長を維持し、巨大な市場を開拓できる可能性がある。市場ポジション、イノベーション（技術革新）、実行力、新市場への進出能力の面から魅力的であり、製品の拡充や業界リーダーとの提携による人工知能（A I）導入支援も成長の起爆剤になると考えられる。		

※比率は対純資産総額比です。※投資テーマはGAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの分類によるものです。以下同じです。

※「ファンドの状況」および「今後の見通しと運用方針」については、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドの資料（現地月末営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが合理的と判断した上で作成しています。

当月の市況動向

当月の世界株式市場は、世界的なインフレの落ち着きや米利上げ停止観測、堅調な企業業績、中国政府の景気支援を強化する方針などを受けて、上昇しました。

上旬は、米雇用統計で平均時給の伸びが鈍化せずインフレの早期沈静化期待を後退させるかたちとなったことや、前月の上昇を受けて相場の過熱感が意識されるなど軟調な展開となりました。

中旬以降は、米国の物価指数が市場予想を下回りインフレの落ち着きを示したことや、米大手金融機関の業績が良好であったことなどから上昇に転じました。その後もグローバルな主要企業の良好な業績発表や、26日の米連邦公開市場委員会（FOMC）では市場想定通り0.25%の利上げが決定されたものの9月会合では利上げを見送る可能性を示唆したことに加え、中国政府が中央政治局会議にて景気支援強化の方針を示したことなどが好感されました。結局、金融や景気敏感セクターを中心に上昇し、月末を迎えました。

ファンドの状況

当ファンドは、「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」を通じて、日本を含む世界の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資を行うファンドです。

個別銘柄について、暗号資産をめぐる米国地裁の判決が暗号資産業界にとって有利な材料として市場に評価されたことから、米国の暗号資産取引所運営会社のコインベース・グローバルや、資産配分戦略の一環として暗号資産を多く保有している米国のソフトウェア会社のマイクロストラテジーの株価が大きく上昇しました。また、学校などの教育機関で用いられる教育用ゲームのプラットフォームを提供するノルウェーのKahoot!は、ゴールドマンサックス・グループによる買収の発表を受けて株価が上昇しました。

業種別では、情報技術、コミュニケーション・サービスの順に組み入れた運用となっています。

国・地域別では、アメリカ、中国の順となっています。

当ファンドの基準価額は、保有銘柄の株価が上昇したことなどから、前月末比+377円となりました。

今後の見通しと運用方針

人工知能（A I）を主軸とした産業革命への期待の高まりは世界の株式市場を引き続き下支えしており、高性能半導体以外にも積極的に実装・活用する動きから関連需要は着実に広がりがみられると判断しています。生成A Iで生産性が改善するなどの効果が明らかになれば、関連需要のすそ野はより広がっていくとみています。一方で、銀行の貸し出し態度の厳格化は依然として続いており、高インフレと高い金利水準が続いていることもあり、景気への下押し圧力が強い状況は継続しています。企業の経営活動が保守的になる環境は続いており、引き続き金融市場の不安心理が大きくなりやすいことから、過度な楽観には注意が必要と判断しています。信用不安が落ち着き、景気は減速しつつも良好な雇用環境が景気の下振れリスクを緩和し、金融引き締めの転換が図られることがベストシナリオですが、さまざまなリスクがくすぶっていることからリスク要素を細かに注意深く見る必要がある局面が続いていると考えています。高インフレと高い金利水準の環境下では株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）は株価押し上げ要因にはなりづらく、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色やセクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）の激しい動きが続く可能性が想定されます。

引き続き、当ファンドでは既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資を行う方針です。

ファンドの特色

- ①日本を含む世界の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資します。
- ②年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド（指定投資信託証券を含みます）は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のもとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化（倒産に至る場合も含む）等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

! 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 株式市場が大幅に下落する可能性が高いと判断する場合には、主要投資対象とする外国投資信託証券において株式の組入比率を引き下げることがあります。このため、市場が予想しない値動きをした場合等には、この運用が効果的に機能しない可能性があり、その際には基準価額の下落リスクを軽減できないこと、あるいは株式市場の上昇に追従できないこと等があります。

- ストックコネクト※を通じた取引に関しては、以下の事項にご留意ください。

ファンドは中国A株への投資に際し、ストックコネクト（上海・香港相互株式取引制度および深セン・香港相互株式取引制度）を通じて行う場合があります。ストックコネクトを通じた投資は、取引や決済に関する特有の制限等で意図した取引等ができない場合、取引等に特有の費用が課される場合、ストックコネクトにおける取引停止や中国本土市場と香港市場の休業日の違いにより、中国本土市場の急変あるいは株価の大幅な変動時に対応できない場合等には、ファンドの資産価値が減少する要因となることがあります。また、ストックコネクトでは、投資者が不利益を被る大きな制度変更が行われる可能性があります。

※ストックコネクトとは、ファンドを含む外国の投資家が、上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株を香港の証券会社を通じて売買することができる制度です。なお、中国A株とは、主な投資家として中国居住者を想定しているものですが、一定の条件のもとでファンドを含む外国の投資家にも投資が認められています。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要がある場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。

これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受け付けを中止する、また既に受け付けた換金の申込みの受け付けを取消しする可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

手続・手数料等

※基準価額は便宜上1万口当りに換算した価額で表示されます。

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金時	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。
申込について	申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。
	申込不可日	次のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金の申込みの受け付けを行いません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行、ケイマンの銀行
決算・分配	決算日	4月25日（該当日が休業日の場合は翌営業日）
	収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。
その他	信託期間	2031年4月25日まで（設定日：2021年4月26日）
	繰上償還	・投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」が存続しないこととなる場合には、ファンドを繰上償還します。 ・受益権の口数が30億口または純資産総額が30億円を下回っている場合等には、委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。
	課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」の適用対象となりますが、税法の改正により、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合に限りNISAの適用対象となります。詳しくは、販売会社にお問合せください。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

❗ ご購入に際しては、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用				
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.3%（税抜3.0%）を上限 として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。		
換金時	信託財産留保額	ありません。		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用				
毎 日	運用管理費用 (信 託 報 酬)	ファンドの純資産総額に年率1.1825%（税抜1.075%）をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。		
		投資対象とする 外国投資信託証券	基本報酬	外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。
			成功報酬	運用実績が良好であった場合にかかります。
			※年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書（交付目論見書）をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。	
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に 年率1.8975%（税込）程度 をかけた額に 成功報酬 を加えた額となります。 ※上記の「ファンドの純資産総額」には、投資対象とする外国投資信託証券の成功報酬相当額は含まれません。		
	監 査 費 用	ファンドの純資産総額に年率0.011%（税抜0.01%）をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。		
随 時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。		

-  当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
-  詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

税金

分配時の普通分配金、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して、所得税および地方税がかかります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

- 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となりますが、税法の改正により、2024年1月1日以降は一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ただし、2024年1月1日以降は、税法上の要件を満たしたファンドを購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方となります。詳しくは、販売会社にお問合せください。
- 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が投資信託説明書（交付目論見書）の記載と異なる場合があります。
- 法人の場合は上記とは異なります。
- 税金の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者登録番号 関東財務局長（金商）第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター 0120-762-506 9:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く） ホームページ https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	

ご留意いただきたい事項

- ①投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- ②当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- ③投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。
- ④投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフ（金融商品取引法第37条の6の規定）の適用はありません。
- ⑤当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- ⑥当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ⑦当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ⑧当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

取扱販売会社一覧

※販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。
詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取 扱 販 売 会 社 名	登録金融機関		登 録 番 号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
	金融商品 取引業者	登録金融 機関					
十六 T T 証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第188号	○			
東海東京証券株式会社(※1)	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○

(※1)一般社団法人日本STO協会にも加入しております。